

仁淀川地域アクションプランの進捗状況等について

仁 淀 川 地 域 本 部

令和3年9月21日（火）

仁淀川地域アクションプランの進捗状況等

R3.9.21

仁淀川地域本部

1 地域アクションプランの令和3年度上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全34のプランについて、実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、それぞれの地域アクションプランに掲げた目標の達成を目指して取り組みを進めている。

事業のステップアップなどの課題を抱えている案件については、各種アドバイザーの派遣や各種補助金の活用等、各案件の状況に応じた支援策を講じ、関係機関と連携した具体的なサポートを実施している。

こうした中、県内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、仁淀川地域においても、昨年と同様、年度当初から様々なイベントの中止や外出・移動の自粛などによる観光産業の落ち込みをはじめ、取引先との取引停止や商談の中止等による経済活動の停滞など、大きなマイナスの影響が見られた。

管内市町村においては、引き続き、事業の継続に向けた独自の支援策を実施するなど、地域経済の維持に向けた取り組みが行われている。

新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せない状況にある中、ウィズコロナ、アフターコロナ時代に対応したイベントの実施や商談会への出展、受入態勢の整備など、事業主体等による取り組みが行われている。

農業分野では、トマトの生産拡大において栽培講習会や現地検討会での栽培技術指導、個別巡回による栽培指導の徹底を図ることによって、トマトの出荷量、販売実績額の増加に向けて取り組んでいる。さらに、法人への新規雇用や、JA高知県が運営する無料職業紹介所等により、トマト生産に係る雇用人数は増加しており、産地の確立だけではなく、移住促進や雇用拡大など地域の活性化に向けた取り組みとも連携しながら進めている。

林業分野では、平成31年4月から施行された森林経営管理法に基づく、新たな森林経営管理体制の円滑な運用に向けた協議を行うとともに、より一層の原木の増産と安定確保を目指して管内市町村及び森林組合との協議を進めるなど、地域の関係者とともに林業・木材産業の振興に取り組んでいる。

水産業分野では、(株)土佐マリンベースが水産加工施設等整備事業費補助金を活用し新たに水産加工施設の整備を進めており、ブリやマダイなどの養殖魚の産地加工体制を構築することで、養殖漁業等の振興、地元雇用の創出などの取り組みを進めている。

商工業分野では、昨年、仁淀川町を拠点に開業したMUKAI CRAFT BREWING(株)が行う地元食材を副原料（茶葉、生姜など）としたクラフトビールの製造や販売を通じて、地域ブランドとしての確立に向けて取り組んでいる。また、佐川町においては、さらなる交流人口の拡大と地域経済の活性化に向け、R5年春のオープンを目指した道の駅の整備計画が進められており、現在、実施設計に関連する業務に取り組んでいる。

観光分野では、アウトドアブームや、コロナ禍においてアウトドアが注目されている中、越知町がアウトドアの拠点施設として整備した「スノーピークおち仁淀川キャンプフィールド」に、

県内外から多くの方が訪れているが、今後のさらなる利用拡大に向け、ビジネス用途などキャンペーン以外での利活用も訴求する取り組みを進めている。また、本県が舞台モデルとなった映画『竜とそばかすの姫』の公開に合わせ、SNSによる情報発信や各種キャンペーンの展開など、官民一体となって地域への誘客に向けて取り組んでいる。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.3 日高村まるごとブランド化(日高村)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・日高村</p> <p>◎・JA高知県(仁淀川地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA高知県日高支所ハウス園芸部会 ・(株)コスモスアグリサポート ・(株)イチネン高知日高村農園 ・日高村商工会 ・(特非)日高わのわ会 ・農事組合法人霧山茶業組合 ・(株)村の駅ひだか <p>※地域産業クラスター関連(日高村トマト産地拡大クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 農産物等の販売額</p> <p>出発点(H30): 5.4億円</p> <p>直近値(R2): 7.51億円</p> <p>到達目標(R3): 5.64億円</p> <p>目標(R5): 5.86億円</p> <p>(2) 「オムライス街道」によるオムライス販売数</p> <p>出発点(R元見込み): 55,475食</p> <p>直近値(R2): 46,965食</p> <p>到達目標(R3): 58,000食</p> <p>目標(R5): 60,000食</p> <p>(3) 商品・加工品開発件数</p> <p>出発点(H28~H30累計): 23件</p> <p>直近値(R2): 6件</p> <p>到達目標(R3): 6件</p> <p>目標(R2~R5累計): 25件</p> <p>(4) 村外からの移住者数</p> <p>出発点(H28~H30累計): 12組</p> <p>直近値(R2): 9組</p> <p>到達目標(R3): 5組</p> <p>目標(R2~R5累計): 20組</p> <p>(5) 新規就農者数</p> <p>出発点(H28~H30累計): 19名</p> <p>直近値(R2): 3名</p> <p>到達目標(R3): 1名</p> <p>目標(R2~R5累計): 4名</p> <p>[取組状況]</p> <p>(1) 農産物等の販売額(R3.7月末): 2.69億円 (前年同期比: 91%) (うちトマト販売額(R3.7月末): 2.34億円 (前年同期比: 88%))</p> <p>(2) 「オムライス街道」によるオムライス販売数 (R3.8月末): 19,635食(前年同期比: 113%)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>(3) 商品・加工品開発件数 (R3.8月末) : 5件</p> <p>(4) 村外からの移住者数 (R3.8月末) : 5組 ・移住相談数 (R3.6月末) : 延べ21件</p> <p>(5) 新規就農者数 (R3.8月末) : 0名</p> <p>○クラスタープラン：日高村トマト産地拡大クラスタープロジェクトの取り組み推進</p> <p>○経営管理能力及び生産力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培講習会及び現地での検討会 (R3.6月末) : 6回 ・個別巡回による栽培指導 (R3.6月末) : 23回 ・就農希望者との面談 (R3.6月末) : 1回 ・産地提案書の見直し (R3.6月末) : 1回 ・法人雇用実態調査 (R3.6月末) : 1回 ・JA高知県が運営する無料職業紹介所の活用に関する協議 (R3.6月末) : 1回 ・IoT技術の活用に向けた栽培や出荷に関するデータの集約 <p>○農業経営体の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営実態調査 (R3.6月末) : 11回 ・農家への経営コンサルティング (R3.6月末) : 6回 ・経営目標調査 (R3.6月末) : 11回 <p>○販売力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県版GAP点検 (R3.6月末) : 2回 ・夏秋トマトの販売会議 (R3.6月末) : 1回 <p>○「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザー制度(課題一貫支援型)を活用した(特非)日高わのわ会の経営支援に関する協議 (R3.7月末) : 6回 ・オムライス街道スタンプラリー第8弾スタート (6/12~R4.3.27) ・オムライス街道スタンプラリー第8弾キックオフイベント (7/4) ・オムライス街道事業参加店舗による新メニューの開発 : 4件 ・新たな加工品の販売 : 1件 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営管理能力及び生産力の向上 ⇒要望に応じて講習会や個別指導等を行い、栽培技術の向上を図る

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒JA 高知県が運営する無料職業紹介所の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業経営体の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ⇒研修期間に使用する作業チェックリストの見直し ⇒就農支援体制強化に向けた協議会開催の支援 ・販売力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒市場関係者との定期的な協議及び情報の共有 ⇒JA、園芸連等との予約相対期間等の再検討 ・日高村アグリネットワークの連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒日高村アグリネットワーク会議の開催 ・日高村及び日高村農産物の知名度の向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒販促活動や日高まるごとイタリアンプロジェクトの推進により日高村の知名度やブランド力の向上とイメージアップを図る ・新たな特産品やトマトを活かした加工品の開発 <ul style="list-style-type: none"> ⇒クラスタープランの推進による新たな商品や加工品の開発 ・(特非)日高わのわ会の経営力強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒運営体制の強化及び収益向上の仕組みづくり
<p>■No. 7 仁淀川流域における林業・木材産業の振興（仁淀川地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <p>◎・林業事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林組合 ・素材生産業者 ・製材業者 ・自伐林家等 	<p>[指標]</p> <p>(1) 原木生産量</p> <p>出発点 (H30) : 9.8 万 m³</p> <p>直近値 (R2) : 9.5 万 m³</p> <p>到達目標 (R3) : 11.0 万 m³</p> <p>目標 (R5) : 12.0 万 m³</p> <p>(2) 仁淀川林産協同組合集材センター集荷量</p> <p>出発点 (H30) : 3.5 万 m³</p> <p>直近値 (R2) : 3.7 万 m³</p> <p>到達目標 (R3) : 4.6 万 m³</p> <p>目標 (R5) : 5.8 万 m³</p> <p>[取組状況]</p> <p>(1) 原木生産量 (R3.6 月末) : 2.0 万 m³</p> <p style="text-align: right;">(前年同期比 : 95%)</p> <p>(2) 仁淀川林産協同組合集材センター集荷量</p> <p style="text-align: right;">(R3.6 月末) : 1.0 万 m³ (前年同期比 : 83%)</p> <p>○施業地確保や集約化による原木生産の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林経営計画及び森の工場計画作成指導 (4 月 : 6 市町村 2 事業体、5 月 : 6 市町村 2 事業体、6 月 : 6 市町村 2 事業体)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・森の工場及び原木増産個別ヒアリング (6/9 : 12 事業体) ・森林経営計画の認定 (6 月末現在 : 3 事業体・279.72ha) ・新規森の工場の計画書作成 (6 月末時点 : 1 事業体・63.43ha) ・皆伐作業道整備の交付決定 (6 月末時点 : 2 事業体・2,860m) ・現地調査支援システムの貸出 (タブレット : 3 町村 3 台・地形データ HDD : 6 市町村) ・森林管理システム支援チーム会 (4/16) ・森林管理システム市町村個別支援 (8 回) ・森林管理システム林業事務所ワーキング (6/21 新型コロナウイルス感染症対策により書面送付) <p>○事業体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業戦略策定支援 (新規 2 事業体) ・(再掲) 森の工場及び原木増産個別ヒアリング (6/9) ・高性能林業機械導入の国交付決定 (6 月末時点 : 1 事業体・1 台) ・自伐林家等林業機械レンタルの交付決定 (6 月末時点 : 2 名・2 台) ・仁淀川町林業研修生の受け入れ (3 名) <p>○需給調整体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川町林業総合戦略策定支援 (5/28、6/14, 25, 30) ・仁淀川町 SCM 意見交換会 (5/11、6/4) ・日報管理システムの配付による現場管理を開始 (端末 : 10 事業体・11 台、タブレット : 6 事業体・13 台) ・施業提案システムの改良支援 (6/11, 18) <p>○大型製材工場の生産・経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進捗管理及び情報収集 (5/11、6/19, 25) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による原木生産への影響と今後の見通し ⇒素材生産量調査による情報収集 ・森林管理システムに係る集積計画の作成 ⇒針広混交林施業に向けた勉強会の開催 (7/8) ・労働生産性の向上 ⇒高性能林業機械の導入に向けた計画書作成支援及び日報管理システムの活用促進

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.9 佐川町における自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化クラスタープロジェクト(佐川町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・佐川町</p> <p>◎・自伐型林業やものづくりに取り組む個人・団体</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 林業関連新規就業者数 出発点(H28～R元累計):17人 直近値(R2):5人 到達目標(R2～R3累計):10人 目標(R2～R5累計):20人</p> <p>(2) 山林の集約化面積 出発点(H28～H30累計):225ha 直近値(R2):113ha 到達目標(R2～R3累計):200ha 目標(R2～R5累計):400ha</p> <p>[取組状況]</p> <p>(1) 林業関連新規就業者数(R3.7月末):4人 (前年同期比:80%) ※採用予定者の辞退に伴い前年より減少</p> <p>(2) 山林の集約化面積(R3.7月末):27ha (前年同期比:84%)</p> <p>○自伐型林業の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊(自伐型林業)採用:4人 ・町民向け研修・体験会の開催 チェーンソー取扱い研修(8/7～8/9) ・地域おこし協力隊向けスキルアップ研修の実施(7/28～7/30、8/3～8/5) <p>○さかわ産木材を活用したものづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊(ものづくり関連)採用:3人 ・ものづくりに関する人材育成(さかわ発明ラボ) 小中学生対象「放課後発明クラブ」の開催 (毎週水・木曜日) 小学生対象授業「さかわロボット動物園」の支援 (町立小学校(全4校)で実施) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自伐型林業の確立(ビジネスモデルづくり) ⇒地域おこし協力隊の採用・育成と自立化に向けた検討 ⇒山林の集約化(管理契約締結)の推進 ・低質材の活用促進 ⇒低質材等の利活用に向けた検討 ・さかわ産木材を活用したものづくりの推進

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	⇒さかわ発明ラボの道の駅等への移転に伴う効率的な運営の検討
<p>■No. 12 土佐市における養殖魚加工体制の構築による加工品の販売拡大と地域の振興（土佐市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(株)土佐マリンベース</p> <p>・和光商事(株)</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 売上高</p> <p>出発点 (H30) : -</p> <p>直近値 (R2) : -</p> <p>到達目標 (R3) : -</p> <p>R4. 4～稼働予定</p> <p>目標 (R5) : 3 億 1,800 万円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○産地加工体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ・造成工事完了 (7 月) ・起工式 (7/27) ・躯体工事着手 (8/9) ・輸出拡大施設整備等事業費補助金の割当内示 (7/29) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元での安定雇用 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ハローワークでの求人開始 (7/10～) ⇒地元高校で説明会等を開催し新卒雇用の機会を図る (2 学期中に説明会を実施予定)
<p>■No. 15 いの町中心市街地の活性化（いの町）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・いの町</p> <p>◎・いの町商工会</p> <p>※地域産業クラスター関連（いの町生姜生産・販売拡大クラスタープロジェクト）</p>	<p>[指標]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業</p> <p>出発点 (H28～R 元累計) : 15 事業所</p> <p>直近値 (R2) : 3 事業所</p> <p>到達目標 (R3) : 2 事業所</p> <p>目標 (R5) : 8 事業所 (R2～R5 累計)</p> <p>[取組状況]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業 (R3.7 月末) : 4 事業所</p> <p>○中心市街地活性化計画実行に向けての取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の新規事業者等を紹介するリーフレット作成にかかる協議 (4/13) ※広報誌への折り込み (10 月号からの予定) <p>○イベント等開催によるにぎわいの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いの町まちのこいのぼりスタンプラリー実施 (4/29～5/5、景品交換数 : 86 個)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○地域産業クラスターの取り組み (いの町生姜生産・販売拡大クラスタープロジェクト)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品(芽生姜のしそ酢漬け)の開発に向けた協議 ・試作及び味の確定(6~9月予定) ・菌検査、栄養成分検査等の実施(10月~予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化計画に基づくアクションプランの実行 ⇒WGの開催、各取り組みの実行に向けた関係者協議 ・アフターコロナを見据えたアクションプランの更新及び見直し ⇒感染予防対策を徹底したイベントの開催検討 ・新規開業の増に向けた取り組み及び既存事業者の事業継続への対応 ⇒商工会・行政が連携した相談体制の構築、計画書策定のサポート ⇒行政の支援制度の紹介及び申請支援
<p>■No. 17 仁淀川町で製造するクラフトビールの展開による交流人口の拡大と地域の活性化(仁淀川町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・MUKAI CRAFT BREWING(株)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川町 	<p>[指標]</p> <p>クラフトビール販売額</p> <p>出発点(R元)：-</p> <p>直近値(R2)：370万円</p> <p>到達目標(R3)：1,150万円</p> <p>目標(R5)：1,300万円</p> <p>[取組状況]</p> <p>クラフトビール販売額(R3.7月末)：490万円 (前年同期比：-) ※R2.9月から販売開始</p> <p>○製造及び販売体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BBQスペースと備品のレンタルを開始(5/18~) ・屋外オーニングの設置(7/9) <p>○積極的な販売促進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車による屋台の営業許可を取得(中央西管内・高知市)(4/6・4/14) ・日高酒蔵ホールでイベント販売(4/27) ・ふるさと納税の取扱い開始(5/26~) <p>○ブランド化戦略の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内量販店とイベント販売の協議(6/28) ・おち仁淀川キャンプフィールドでの出張販売(7/17)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造及び販売体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒安定した味・レシピの調整、醸造の軌道化、新商品の開発 ⇒県版 HACCP 新第2ステージの認証取得 ⇒案内看板の設置や屋外飲食スペースの充実 ・積極的な販売促進活動 <ul style="list-style-type: none"> ⇒卸販売の販路開拓
<p>■No. 21 道の駅を拠点とした「ごちそう佐川」プロジェクト (佐川町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・佐川町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一財)しあわせづくり佐川 <p>※地域産業クラスター関連 (佐川町木材産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 年間売上高 出発点：－ 目標 (R5)：－</p> <p>(2) 来場者数 出発点：－ 目標 (R5)：－</p> <p>[取組状況]</p> <p>○道の駅施設の整備、体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの開催 (4/20) ・基本設計報告会の開催 (6/20) ・国交付金の活用に向けた国との協議 (6/21) ・基本設計書の策定 (6月末) ・運営組織「一般財団法人 しあわせづくり佐川」の設立 (7/27) ・国の交付金 (第3次募集) へのエントリー (8/18) ・実施設計業務委託契約書の締結 (9/1) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅施設の整備、体制強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒施設整備に向けた実施設計の策定 ⇒国の交付金の採択に向けた対応 ⇒道の駅のオープンに向けた職員の雇用、品揃えの確立等 ・佐川町の特産品等の充実強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒商品・メニューの磨き上げ及び開発
<p>■No. 22 「村の駅ひだか」での農産物等の販売による地域商業の振興と地域の活性化 (日高村)</p> <p>《事業主体》</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 直販市の販売額 出発点 (R元見込み)：2.11億円 直近値 (R2)：2.14億円 到達目標 (R3)：2.13億円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>◎・(株)村の駅ひだか ・日高村</p> <p>※地域産業クラスター関連(日高村トマト産地拡大クラスタープロジェクト)</p>	<p>目標(R5):2.15億円</p> <p>(2)レジ通過人数 出発点(R元見込み):19万1千人 直近値(R2):18万1千人 到達目標(R3):19万2千人 目標(R5):19万4千人</p> <p>[取組状況]</p> <p>(1)直販市の販売額(R3.8月末):0.78億円 (前年同期比:93%)</p> <p>(2)レジ通過人数(R3.8月末):7万人 (前年同期比:95.1%)</p> <p>・H26.11月オープン以降の来客者数(レジ通過)が130万人突破(R3.7月)</p> <p>・村の駅ひだか出荷部会の開催(R3.6月末):2回</p> <p>・村の駅ひだか取締役会の開催(R3.6月末):1回</p> <p>・店頭販売の実施(R3.6月末):22回</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・直販市の機能強化 ⇒商品の集荷体制の確立 ⇒特産品生産者の高齢化に伴う後継者づくり ⇒他地域の特産品も含めた販売商品の拡充</p>
<p>■No.23「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進(仁淀川地域全域)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一社)仁淀ブルー観光協議会</p> <p>・土佐市</p> <p>・いの町</p> <p>・仁淀川町</p> <p>・佐川町</p> <p>・越知町</p> <p>・日高村</p> <p>・(一社)土佐市観光協会</p> <p>・(一社)いの町観光協会</p> <p>・仁淀川町観光協会</p> <p>・(一社)さかわ観光協会</p> <p>・越知町観光協会</p>	<p>[指標]</p> <p>(1)仁淀ブルー観光協議会関連のツアー送客数 出発点(H30):6,671人 直近値(R2):1,985人 到達目標(R3):— 目標(R5):7,300人</p> <p>(2)主要宿泊施設の宿泊者数 出発点(H30):62,232人 直近値(R2):38,047人 到達目標(R3):— 目標(R5):72,000人</p> <p>(3)主要観光施設等の入込客数 出発点(H30):252,397人 直近値(R2):185,160人 到達目標(R3):— 目標(R5):276,000人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・(一社)日高村観光協会</p>	<p>[取組状況]</p> <p>(1) 仁淀ブルー観光協議会関連のツアー送客数 (R3.8月末)：255人(前年同期比：71.2%) ※昨年8月には国・県の需要喚起策の効果があつたが、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により団体ツアー自体が減少しているため</p> <p>(2) 主要宿泊施設の宿泊者数(R3.7月末)：11,587人 ※一部施設分未集計(前年同期比：239.2%)</p> <p>(3) 主要観光施設等の入込客数(R3.7月末)：59,386人 ※一部施設分未集計(前年同期比：172.5%) ※(2)及び(3)の指標とも、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に落ち込んだため</p> <p>○商品造成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀ブルー体験博のプログラム開発等に向けたワークショップの開催(5/9～10、6/2～6/4、7/2～7/3) <p>○広報・誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、SNS、メールマガジン等での情報発信 ・商談会への参加(4/19 高知県観光説明会(東京)14社、6/30 阪急交通社国内旅行推進協力会中・四国支部商談会8社) ・県外での観光PR 4/17、18：代官山蔦屋書店 7/23：大丸須磨店 <p>○組織体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光地域づくり推進員の公募開始(6/16) ・仁淀ブルーDMO観光戦略推進・策定支援委託業務契約締結(7/1) ・次期観光戦略策定に向けたこれまでの取組の検証、関係者ヒアリングの実施 ・各会議の開催 総会(4/9、6/25)、 理事会(5/21、6/15、6/25、7/27)、 市町村担当課長会(5/21)、 仁淀ブルーDMOワーキング(7/20) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会関係者(事務局、市町村、観光協会等、県)のパートナーシップの強化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒仁淀ブルーDMO ワーキングを通じた観光戦略推進のPDCA サイクルの実施</p> <p>⇒次期観光振興計画の策定に向けた関係者へのヒアリングやワーキンググループ、各種マーケティング調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川地域の観光施設、宿泊施設、食事施設等の事業者を巻き込んだ協議会パートナーとしての連携意識醸成 <p>⇒映画『竜とそばかすの姫』による仁淀川地域の注目度向上の機会を捉えた観光客誘致につながる事業の実施</p> <p>⇒仁淀川地域観光に携わる人材の育成</p> <p>⇒宿泊施設や交通事業者等と連携・協働した周遊につながるプログラム開発</p>
<p>■No. 24 土佐市における体験型観光と食観光の推進（土佐市）</p> <p>《事業主体》</p> <p>◎・(一社)土佐市観光協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市 ・宇佐ホエールウォッチング協会 ・土佐市ドラゴンガイドチーム <p>※地域産業クラスター関連(宇佐・浦ノ内地区水産資源活用クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>体験型・食観光における入込客数</p> <p>出発点 (H30) : 2,143 人</p> <p>直近値 (R2) : 1,555 人</p> <p>到達目標 (R3) : 4,300 人</p> <p>目標 (R5) : 5,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <p>体験型・食観光における入込客数 (R3.7月末) : 414 人 (前年同期比 : 251%)</p> <p>※昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に落ち込んだため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホエールウォッチング協会の SNS による運行・遭遇状況の情報発信 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホエールウォッチングのさらなる誘客に向けた態勢整備 ⇒荒天時の代替メニューの検討 ・塚地峠、宇佐まちあるきガイドの磨き上げ ⇒昨年度の産振アドバイザーによる研修を生かし、勉強会等でガイドのスキルアップを継続していく。 ⇒新たなガイドの募集、育成を図る。 ・新たな体験メニューの開発 ⇒仁淀ブルー体験博を契機に開発した体験メニューの継続実施に向けた体制づくり及びブラッシュアップを図る。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による入込客数の大幅

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>減少 ⇒感染症対策に配慮した安心安全な受入の継続と新型コロナウイルス収束後を見据えた誘客施策の検討</p>
<p>■No. 27 いの町の地域資源を活かした体験型観光等の推進 (いの町)</p> <p>《実施主体》 ◎・(一社)いの町観光協会 ・いの町</p>	<p>[指標]</p> <p>(1)体験参加人数 出発点 (H30) : 27,541 人 直近値 (R2) : 14,489 人 到達目標 (R3) : 29,000 人 目標 (R5) : 30,100 人</p> <p>(2)体験メニュー売上高 出発点 (H30) : 5,175 万円 直近値 (R2) : 3,207 万円 到達目標 (R3) : 5,815 万円 目標 (R5) : 5,931 万円</p> <p>(3)主要観光施設入込客数 出発点 (H30) : 374,801 人 直近値 (R2) : 296,598 人 到達目標 (R3) : 407,300 人 目標 (R5) : 415,800 人</p> <p>[取組状況]</p> <p>(1)体験参加人数 (R3.7月末) : 4,823 人 (前年同期比:280%)</p> <p>(2)体験メニュー売上高 (R3.7月末) : 1,289 万円 (前年同期比:314%)</p> <p>(3)主要観光施設入込客数 (R3.7月末) : 116,924 人 (前年同期比:192%)</p> <p>※各指標ともに、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に落ち込んだため</p> <p>○体験メニューの販売促進 ・「キジの卵を使ったバームクーヘン作り」体験の開始 (R3.4~6月末まで 体験者数:121名) ・ホームページリニューアル (7月)</p> <p>○イベント等の開催 ・いの町まちのこいのぼりスタンプラリー実施 (4/29~5/5:景品交換数 86個) ・「高知蔦屋書店で鯉が泳ぐ」(いの町フェア)開催 (5/3~5/5)</p> <p>○地域特産品の販売促進</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会による特産品オンラインショップ 送料無料キャンペーン (R2/2/27～R3/4/30) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて楽しめる体験メニュー及びお土産開発 ⇒いの町が舞台のモデルの一つとなった「竜とそばかすの姫」とコラボレーションした紙の博物館での紙すき体験やオリジナル商品の作成・販売 (T シャツ、トートバックの製作) ・まちあるきの広報強化 ⇒各種 SNS 等を活用した広報の展開 ・アフターコロナに向けた観光客誘客のためのプロモーション強化 ⇒パンフレット、観光協会 HP などの見直し
<p>■No. 29 仁淀川町での観光情報の発信強化と受入体制の充実 (仁淀川町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・仁淀川町観光協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川町 ・仁淀川町内の地域づくり団体 	<p>[指標]</p> <p>主要観光施設等入込数 (観光施設：ゆの森、しもなの郷、宝来荘、秋葉の宿) (観光資源：中津溪谷、安居溪谷、桜及び花桃、秋葉まつり)</p> <p>出発点 (H30) : 76,000 人 直近値 (R2) : 56,149 人 到達目標 (R3) : 76,600 人 目標 (R5) : 77,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <p>主要観光施設等入込数 (R3.7 月末) : 24,129 人 (対前年同期比 : 67%)</p> <p>※例年に比べ、桜及び花桃の開花期間が短く、それに伴い警備日数 (=集計日数) を調整したため、前年よりも集計日数が減少</p> <p>○関係機関等と連携した効果的な観光情報収集・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会を主体とした定例会の開催 (月 1 回) <p>○施設整備や接客スキル向上等によるおもてなし観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津溪谷における臨時駐車場の設置 (5 月～) ・観光ガイド養成講座の受講生募集 (6/1～6/15) (6 名受講) ・受講生へ DVD と資料の配付 (6/17～) ・現役ガイドによる溪谷の個別ガイド指導 (7 月～)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等と連携した効果的な観光情報収集・発信 ⇒安居溪谷・中津溪谷の案内看板の整備やパンフレットのリニューアル、多言語化への対応 ・施設整備や接客スキル向上等によるおもてなし観光の推進 ⇒新人ガイドの発掘及び既存ガイドのスキル向上 ⇒既存体験メニューの磨き上げ、新たな体験メニューの造成による町内観光施設への周遊促進
<p>■No. 30 佐川町での歴史と文教を生かしたまちづくりによる観光の推進 (佐川町)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・佐川町 ◎・(一社)さかわ観光協会 ◎・佐川町内の地域づくり団体・個人 	<p>[指標]</p> <p>(1) 上町地区への入込客数 出発点 (H30) : 31,225 人 直近値 (R2) : 15,954 人 到達目標 (R3) : 33,000 人 目標 (R5) : 40,000 人</p> <p>(2) 上町まち歩きガイド利用者数 出発点 (H30) : 4,512 人 直近値 (R2) : 695 人 到達目標 (R3) : 5,300 人 目標 (R5) : 5,500 人</p> <p>(3) 青山文庫の入館者数 出発点 (R 元見込み) : 5,559 人 直近値 (R2) : 3,106 人 到達目標 (R3) : 6,000 人 目標 (R4) : 6,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <p>(1) 上町地区への入込客数 (R3.7月末) : 5,702 人 (前年同期比 : 154%)</p> <p>(2) 上町まち歩きガイド利用者数 (R3.7月末) : 296 人 (前年同期比 : 643%)</p> <p>(3) 青山文庫の入館者数 (R3.7月末) : 1,146 人 (前年同期比 : 208%)</p> <p>※各指標とも、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に落ち込んでいたため</p> <p>○観光資源の利活用、おもてなしの体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR 客車収容施設落成式 (4/17) ・牧野富太郎博士生誕祭 2021 (4/24~25)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ガイドのための英語自主研修 (週1回) <p>○体験型観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わんさかわっしょい体験博 2021」 説明会 (5/13) ワークショップ (5/27) オープニングセレモニー (8/7) (体験型博覧会 9/4～10/10 実施) ・体験プログラム造成に向けたアドバイザー制度の活用 (6/1、6/15) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源の利活用、おもてなしの体制づくり ⇒歴史資源の活用等により賑わいが生まれる取り組みのさらなる推進、新型コロナウイルス感染症対策を講じたイベントの開催 ・新たな青山文庫の整備 ⇒青山文庫の改修方針の検討 ・体験型観光の推進 ⇒体験型博覧会に向けて、地域資源の掘り起こしや磨き上げにより、商品化を推進
<p>■No. 31 越知町の総合的な観光振興と地場産品の販売促進 (越知町)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・越知町観光協会 ◎・おち駅物販経営協議会 ◎・越知町 <ul style="list-style-type: none"> ・JA 高知県 (仁淀川地区) など 	<p>[指標]</p> <p>(1) おち駅での販売額</p> <p>出発点 (H30) : 1.0 億円 直近値 (R2) : 1.3 億円 到達目標 (R3) : 1.1 億円 目標 (R5) : 1.1 億円</p> <p>(2) 横倉山自然の森博物館入館者数</p> <p>出発点 (H30) : 6,507 人 直近値 (R2) : 6,187 人 到達目標 (R3) : 9,100 人 目標 (R5) : 9,700 人</p> <p>(3) カヌー・ラフティング利用者数</p> <p>出発点 (H30) : 1,694 人 直近値 (R2) : 1,429 人 到達目標 (R3) : 2,200 人 目標 (R5) : 2,400 人</p> <p>[取組状況]</p> <p>(1) おち駅での販売額 (R3.7月末) : 33,133 千円 (前年同期比 : 75.7%)</p> <p>※ふるさと納税に関わる販売額の減少</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>(2) 横倉山自然の森博物館入館者数 (R3.6月末)：1,416人(前年同期比：439.8%)</p> <p>(3) カヌー・ラフティング利用者数 (R3.7月末)：584人(前年同期比：296.4%)</p> <p>※(2)及び(3)の指標とも、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に落ち込んだため</p> <p>○観光物産館おち駅の利用者拡大に向けた取り組み ・おち駅物販経営協議会(8月末)：5回 ・物販エリアの一部リニューアル</p> <p>○横倉山のさらなる魅力向上に向けた取り組み ・観察会等の実施 7回(参加者 95名) ・企画展の実施 1回(6月末) 4/24～6/2 日本の生物多様性とその保全(821名)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・横倉山のさらなる魅力向上 ⇒横倉山自然の森博物館の外壁改修工事 (休館7/1～9/30予定) ⇒横倉山自然の森博物館ホームページのリニューアル (10月予定)</p> <p>・カヌー、ラフティングの利用者拡大 ⇒スノーピークでの受入体制の充実(人材確保)</p>
<p>■No.32 越知町における体験型観光の拠点となるキャンプ場を核とした交流人口の拡大と地域の活性化(越知町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・越知町</p> <p>・(株)スノーピーク</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) キャンプ場利用者数 出発点(H30)：9,526人 直近値(R2)：11,113人 到達目標(R3)：10,940人 目標(R5)：10,980人</p> <p>(2) 宮の前公園センターハウス レジ通過者数 出発点(R元見込)：23,000人 直近値(R2)：18,573人 到達目標(R3)：30,800人 目標(R5)：34,000人</p> <p>[取組状況]</p> <p>(1) キャンプ場利用者数(R3.7月末)：3,418人 (前年同期比：333.1%)</p> <p>(2) 宮の前公園センターハウス レジ通過者数</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>(R3.7月末)：6,667人 (前年同期比：195.2%)</p> <p>※各指標とも、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に落ち込んだため</p> <p>○キャンプ場の運営と誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民限定のアウトドアイベントの実施 (5/9：58名) ・高知トヨタの展示会実施 (7/17) ・ムカイクラフトブルーイングの出張販売 (7/17) <p>○地域情報の発信と経済効果の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわの駅でのテイクアウトマーケットの実施 (4/11、5/2) ・かわの駅での高知トヨタの展示会実施 (7/18) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場の運営と誘客促進 ⇒平日など閑散期の稼働率アップ ⇒運営体制の充実 (人材確保) ・地域情報の発信と経済効果の創出 ⇒かわの駅でのテイクアウトマーケットの継続実施 ⇒中心市街地への誘客に向けた検討
<p>■No. 34 「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化 (日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・(株)屋形船仁淀川 ◎・(一社)能津未来 ・日高村 	<p>[指標]</p> <p>(1) 屋形船乗船者数</p> <p>出発点 (H30)：6,076人</p> <p>直近値 (R2)：2,710人</p> <p>到達目標 (R3)：7,750人</p> <p>目標 (R5)：8,000人</p> <p>[取組状況]</p> <p>(1) 屋形船乗船者数 (R3.8月末)：930人 (前年同期比：111%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OTA経由での予約件数 (R3.6月末)：20件 ・ロケットカード配布枚数 (R3.6月末)：159枚 <p>○観光客の受入態勢の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画「竜とそばかすの姫」とのタイアップ企画の実施 (R3.7月～) ・(一社)能津未来と連携した体験観光商品の造成を検討 <p>○国内外に向けた情報発信</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ Instagram での情報発信を開始 ○ (一社)能津未来による集落活動センターの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験参加人数 (R3.6月末) : 90人 ・ 来客者数 (レジ通過) (R3.6月末) : 1,749人 ・ 産業振興アドバイザー制度 (課題解決型) を活用し、(一社)能津未来の経営支援に関する協議を実施 (8月～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客の受入態勢の充実 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 雨天時や冬期の体験メニューの企画・試行 ・ 国内外に向けた情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ホームページや SNS (Instagram 等) を活用した情報発信の充実 ⇒ (一社)日高村観光協会や(一社)仁淀ブルー観光協議会等の関係団体と連携した情報発信 ・ (一社)能津未来による集落活動センターの安定的な運営 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 産業振興アドバイザー制度の活用による経営支援 ⇒ 地域住民によるセンターを活用した新たな取り組みの実施

2 令和3年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況 (交付決定又は採択事業) 該当なし

3 県民参画に向けた取り組み

- ・ 日高村行政連絡協議会 (5月書面開催) に「第4期計画改訂のポイント」の資料提供
- ・ いの町観光協会通常総会 (5月書面開催) に「第4期計画改訂のポイント」の資料提供
- ・ (一社)仁淀ブルー観光協議会理事会での「第4期計画改訂のポイント」の説明 (5/21)

4 相談案件 : 1件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	5/7	製造業	新規酒造事業の立ち上げについて

地域産業クラスタープロジェクトの推進

地域に根差した産業を核として、その周りに様々な産業を集積させる「地域産業クラスター」の形成に取り組むことにより、第一次産業から第三次産業までの多様な仕事を創出し、若者が地域地域で働き続けられる土壌づくりを目指していきます。クラスター形成を目指す「クラスタープロジェクト」として、19のプロジェクトを位置づけており、その一つひとつに、県、市町村、関係団体等で構成する「プロジェクトチーム」を設置し、プランの策定からその実行までをサポートしていきます。

地域	分野	プロジェクトNo.・名称	取り組み概要(目指す姿)	取り組み状況
仁淀川	農業	No.8 日高村トマト産地拡大クラスタープロジェクト	日高トマト生産団地の拡大の取り組みを核として、中山間複合経営拠点の整備とも併せ、関連するJA出荷場、農産品加工施設、直販所、地元レストラン等が連携し、クラスターの形成を図る。	これまでの取り組み (H28～R2) トマト産地の確立のため、最新技術の研究及び導入、栽培技術の向上に向けた指導等、一貫した支援を行ってきた。また、トマトを活用した新たな加工品やオムライスメニューの開発に取り組むとともに、村の駅ひだかや、オムライス街道の参加店舗をはじめとする地元飲食店等による販売促進を行ってきた。
		関連する地域AP No.3 日高村まるごとブランド化 No.22 「村の駅ひだか」での農産物等の販売による地域商業の振興と地域の活性化		R3年度の取り組み 【取り組み状況】 栽培マニュアルの改訂を行い、マニュアルをもとにした現地指導の徹底により栽培技術の向上が図られた。また、トマトを活用した加工品の製造販売や宿泊施設の運営等を行う法人の経営力強化に向けた支援を実施するとともに、オムライス街道店舗による新メニューの開発（4件）や、新たな加工品の販売（1件）が進んだ。 【課題と今後の対応】 トマト生産力向上に向けた労働力の確保及び交流人口の拡大に向けた宿泊施設や「村の駅ひだか」の魅力向上
	農業	No.9 いの町生姜生産・販売拡大クラスタープロジェクト	いの町での生姜生産を核として、生姜の集出荷場整備を契機に、生姜生産農家、地元加工業者や直販所、道の駅、学校及び商工会等が連携し、生産から販売、人材育成までの好循環を生み出す。	これまでの取り組み (H28～R2) 栽培技術の向上を支援し、露地生姜栽培面積は、順調に推移している。また、生姜を活用した新たな加工品やメニューの開発に取り組むとともに、町の生姜をアピールし町内での消費促進を図るため「生姜焼き街道」の取り組みを行ってきた。
		関連する地域AP No.4 いの町生姜生産・販売拡大クラスタープロジェクト		R3年度の取り組み 【取り組み状況】 栽培講習会、GAP点検支援等の実施や、新規研修生の受入、シードシャッターの設置によるGAP取り組み強化などを行った。また、芽生姜を使った加工品（しそ酢漬け）の試作を行うとともに、高知市内でのイベント出店による生姜消費拡大に向けたPRを行った。 【課題と今後の対応】 小袋包装機等の導入による集出荷体制の整備及び生姜の町「いの」PRに向けた取組及び情報発信の強化
	林業	No.10 佐川町における自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化クラスタープロジェクト	自伐型林業の取り組みを中心に、担い手の育成確保を含めた自伐型林業のビジネスモデルづくりのほか、町産材等を使ったモノづくりの人材育成や拠点整備、道の駅等の整備により町内の6次産業化を進める。	これまでの取り組み (H28～R2) 自伐型林業の推進に向けて、地域おこし協力隊の積極採用や山林の集約化による施業地の確保に取り組んだ。また、ものづくりの拠点となる「さかわ発明ラボ」を開設するとともに、森林資源フル活用センター（仮称）や道の駅の整備に向けた検討を行った。
		関連する地域AP No.9 佐川町における自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化クラスタープロジェクト No.21 道の駅を拠点とした「ごちそう佐川」プロジェクト		R3年度の取り組み 【取り組み状況】 地域おこし協力隊を採用した（自伐型林業4名、ものづくり関連3名）。また、町内での自給率の高い産業を創出する森林資源フル活用センター（仮称）の整備については、R2年度に凍結されたが、低質材等の利活用も含め検討を継続するとともに、加工した製品の販売拠点でもある道の駅の整備に向け、基本設計を経て、実施設計の策定を進めている。 【課題と今後の対応】 施業地の安定的・継続的な確保や低質材等の利活用、またR5年春オープンを目指した「道の駅」整備に向けた円滑な取組み
	食品加工	No.11 仁淀川町における(株)フードプランを核としたカット野菜事業クラスタープロジェクト	カット野菜事業を展開する(株)フードプランを仁淀川町での基幹産業として位置付け、事業の継続的な実施と販売拡大によって雇用の確保や農業者の所得向上につなげる。	これまでの取り組み (H28～R2) 新工場の整備を行うとともに（H30.3月完成）、仁淀川町内での加工用の原料供給体制の強化（産地形成）も並行して行うため、町内（4戸）で加工用ネギの試験栽培を実施した。また、端野菜を活かした新商品開発や、「きじ出汁野菜鍋」の販売促進による観光振興の取り組みも検討した。
		関連する地域AP No.18 仁淀川町における(株)フードプランを核としたカット野菜事業クラスタープロジェクト		R3年度の取り組み 【取り組み状況】 加工用ネギの栽培実証を踏まえ、町内生産者の掘り起こしを行い、原料供給体制の推進を図っているところ。また、新たな産地形成に向け、フードプラン工場の隣地を活用した農福連携による水耕栽培事業の検討を進めている。さらには、新たな高付加価値商品（端野菜を使ったドレッシング）の試食会を行うなど、商品開発を継続するとともに、夏場のアクティビティ体験者等に「きじ出汁野菜鍋」の出汁を使った商品を提供できるよう検討を進めている。 【課題と今後の対応】 加工用ネギの生産者の掘り起こしや、高付加価値商品（ドレッシング）の開発・販売、「きじ出汁野菜鍋」を活用した観光誘客に向けた取組み
	水産業	No.12 宇佐・浦ノ内地区水産資源活用クラスタープロジェクト	うるめいわし、あさり、ブランド真鯛の水産資源を活用した加工業や、ホエールウォッシング、釣り筏などの遊漁、周辺の宿泊施設等が連携してクラスターの形成を図る。	これまでの取り組み (H28～R2) アサリ、ウルメイワシ等の生産量等の確保に向け資源保護活動等を実施した。また、地域食材等を活用した加工品及び弁当の開発、体験メニュー設定、磨上げ等を実施した。
		関連する地域AP No.10 宇佐の一本釣りのうるめいわしのブランド化 No.11 宇佐のアサリ資源を活用した地域の活性化 ほか		R3年度の取り組み 【取り組み状況】 新型コロナウイルスの影響により、民泊の受入れができなかった。加えて、高齢化により民泊の受入れに対する機運が低下している。宇佐地区では、少人数でのまちあるきガイドや、10月から開催する体験博へのプログラム参加など、観光客の受入の取組を行っている。 【課題と今後の対応】 須崎市と土佐市の観光協会による体験メニューの磨き上げ、教育旅行や団体旅行の誘致に向けた取り組みの推進。民泊受入れ家庭の高齢化や新規受入世帯の確保。新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた民泊開業意向調査と募集方法の検討。